

## 評価基準

評点項目	評価内容		配点
全体の評価 (10点)	提案内容の的確性	本学の課題、事業の内容及び目的を十分に理解し、仕様書に記載の各提案項目に対応して、明確かつ具体的に提案されているか。	5点
	提案内容の実現性	上記提案が効果的・効率的に実施できることが明確に示されているか。	5点
提案項目① (企画力) (20点)	分析評価能力	将来の外部環境の変化や技術動向に関する知識を有し、先行事例の分析・評価に基づく提案がなされているか。	5点
	事業具体化能力	狭隘なキャンパスで事業全体を着実に進める具体的でかつ実現可能な提案となっているか。	5点
	整備方針理解能力	整備基本構想、ヒアリング概要等を踏まえて本学が備えるべき具体的な提案となっているか。	5点
	独創性	他事業者と差別化を図った独自の技術の活用を含む提案となっているか。	5点
提案項目② (運用) (10点)	業務遂行能力	中間とりまとめ、最終報告等の業務工程が適時、的確な提案となっているか。	5点
	運用技術能力	本学に過大な事務負担が生じない提案内容となっているか。	5点
提案項目③ (専門性) (20点)	先進性	最新のICT技術を活用する提案がなされているか。	5点
	建築企画能力	建築、都市計画、景観等の関係法令を熟知し、SDGsや地球温暖化等に対応した配慮など、機能、デザイン面で優れた提案となっているか。	5点
		学生利用を前提としつつ、一般開放により地域に貢献できる提案となっているか。	5点
		安心・安全でセキュリティに配慮した創意工夫が見られる提案がされているか。	5点
業務実施 体制 (20点)	人員配置	短期間の業務において、提案内容を着実に実施できる専門人材等、人員配置が確保されているか。	10点
	工程対応	計画の視覚化等関係者協議等の支援体制が十分確保されているか。	10点
小計			80点
業務実績	本業務と同種・類似業務の実績があるかどうか。		5点
	業務実施体制で確保されている人員の業務実績の内容が明確に示されているか。		5点
府内企業	京都府内に、本店、支店又は営業所等を有する者であること。	府内に本店がある	5点
		府内に支店、営業所等がある	3点
		上記以外	1点
価格点	満点(5点) × (提案価格のうち最低価格 / 自社の提案価格)		5点
小計			20点
合計			100点

配点基準(10点配点は10段階評価、5点配点は5段階評価)

## ○業務実績の評価基準について

### ● 本業務と同種・類似業務の実績があるかどうか(5点)

業務内容	点数
体育館を含む複合施設の整備マスタープラン	1.0
体育館のみの整備マスタープラン	0.5

実績1件あたり最大1点×最大5件まで算定

### ● 事務所の人員体制は整っているか。

また、業務実施体制で確保されている人員の業務実績の内容が明確に示されているか(5点)

#### 技術者実績点(3点)

業務内容	点数
体育館を含む複合施設の整備マスタープラン	1.0
体育館のみの整備マスタープラン	0.5

実績1件あたり最大1点×最大3件まで算定

#### 所属技術者数(2点)

会社に所属する技術者の数を右の表で換算する。

順位	点数
上位3者	2
4～6者まで	1
7者以下	0

資格	係数
一級建築士、建築積算技術者	1.0
二級建築士、木造建築士	0.5